

宮川流域エコミュージアム

三重県伊勢市、多気町、明和町、大台町、玉城町、度会町、大紀町

宮川流域案内人の会 / 三重県伊勢市・多気町・明和町・大台町・玉城町・度会町・大紀町

1 社会資本の概要

宮川流域は宮川と大内山川他の支川、伊勢市他6町で構成されています。その中でも宮川は、国土交通省の全国一級河川水質調査において平成3年から平成23年の21年間で最も水質が良好な河川に11回位置づけられ、「清流日本一」として観光資源や地域の特産品にも生かされています。宮川流域には、



自然豊かな宮川中流部

清流に育まれた自然、歴史、文化、産業、伝統があり、上流部は大杉谷をはじめ、豊かな自然に恵まれ、中流部では川霧に育まれるお茶などの産業や鮎漁なども盛んです。下流部においては、お伊勢参りの伝統が息づき、柳の渡し跡、桜の渡し跡が残され宮川の渡し船で旅人をお伊勢さんへといざなった面影が残されています。また、宮川流域の農業用水となる宮川用水施設や宮川ダム、三瀬谷ダムなども観光資源となっています。



宮川の源流部

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

全国的にも清流として名高い宮川を中心とした流域全体を「宮川流域エコミュージアム」として、「人と自然の共生」を目指して流域に点在する豊かな自然、歴史、伝統文化、産業の遺産といった身近で魅力的なフィールドにおいて、地域の思いを伝えるため、平成18年に設立された宮川流域案内人の会が中心となって活動してきました。宮川流域の自然や歴史、伝統的な暮らし、川を使った遊びなどを知識として伝えるだけでなく、その背景にあるメッセージをわかりやすく伝えていきます。

宮川流域案内人は、自然観察、田舎暮らし、遺跡紹介、カヌー、歌、俳句などのそれぞれの個性や特技を活かし、年間80回程の行事を開催し、宮川流域を舞台に様々な形で宮川流域の魅力を発信するために活躍しています。これらは、宮川や宮川流域における自然、歴史、文化、自らが暮らす地域に対する愛着や誇りが活動を長く続ける原動力になっており、そんな宮川流域案内人の企画する行事を楽しみにして参加される方がたくさんみえます。



親子で参加、宮川ディキャンプ



昔ながらの川遊びを体験

3 地域への成果や波及効果等

行事への参加者も年々増加し、三重県内だけでなく全国各地からも参加され、宮川流域の良さを体験していただくだけでなく、各地域に持ち帰って、自分たちの地域を見つめ返すきっかけともなっています。また、地元住民以外は普段は人が立ち寄りにくい上流部の過疎化した地域での企画や、親子で参加や、地域のお年寄りを交えた行事などもあり、幅広い年代を通して地域の良さを知ってもらうことができたり、地域の特産品をPRするきっかけにもなっており、地域の活性化にもつながっています。



案内人養成講座のフィールドワーク



宮川を踏破、宮川ウォーク

喜びの声



●受賞者

宮川流域案内人の会
会長 巽 幸則

●コメント

この度は、手づくり郷土賞という栄えある賞をいただき、ありがとうございます。我々、宮川流域案内人は自然、歴史、文化にあふれた宮川を、そしてそのような宮川に育まれた流域の人たちを誇りに思っています。そんな宮川の、流域の人たちのためにも、初心を忘れずこれからも活動していきたいと思えます。

●活動内容

源流から河口まで歩く宮川ウォーク、昔の川遊びを伝える宮川親子ディキャンプ、その他様々な宮川流域案内人企画

●活動の経緯

平成18年 設立
年間行事数 約80回

所在地

三重県伊勢市ほか6町地内

活動主体及び連絡先

宮川流域案内人の会
(0596-27-5411)
行事案内：宮川流域ルネッサンス協議会
<http://www.miyarune.jp>

対象となる社会資本

一級河川宮川流域
※管理者：流域1市6町



宮川流域エコミュージアム

手づくり郷土賞について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

手づくり郷土賞について

講評

大賞部門

一般部門

資料集